

SQUAVA

A Yavalath simplification by
Néstor Romeral Andrés

はじめに

Yavalath (ヤバラス) は、(Cameron Browne)によって作り出された **LUDI** と呼ばれるコンピュータープログラムが2007年にデザインした2人用アブストラクトゲームです。ゲームの目的は、先に3個のコマを直線に並べることなく、4個のコマを直線に並べることです。

「LUDI」は **GECCO Humie awards** で**金賞**を受賞しました！ 遺伝的・進化的計算国際会議 (GECCO) とは毎年開催される進化的計算に関する最大の国際会議です。

SQUAVA (スクアーバ) は、ヤバラスのボードの形とサイズを縦横の5x5マスにして簡素化したものです。

内容物

- 5x5マスのボード
- 赤いポーン 13個
- 黒いポーン 13個
- バッグ

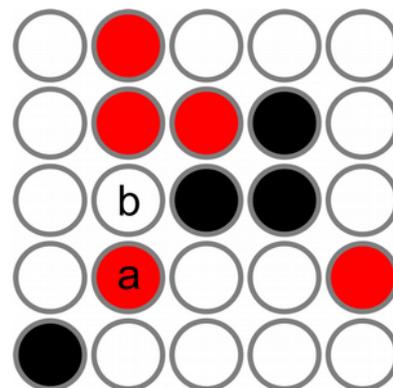
このエディションは**特に目の見えない方向**にデザインされています。ポーンはプレイヤーの色によって「頭」が異なっています。また、ボードには穴があり、一度置いたポーンはそこからずれません。

遊び方

ボードに何も無い状態から始めます。

2人のプレイヤー(赤と黒)は交互に自分の色のポーン1個をボード上の空きマスに置きます。

プレイヤーは自分の色のコマ4個からなる直線を作ろうとします。しかし、そうする前に3個からなる直線ができてしまった場合は負けです。直線は縦横斜めで作ることができます。



例:

赤プレイヤーはポーンを穴「a」に置き、次の自分の手番で「b」に置けばコマ4個の直線ができるようにする。黒プレイヤーは「b」に置くとコマ4個ではなくコマ3個の直線を作ってしまうことになるため、赤プレイヤーが「b」に置くことを阻止できない。ゲームは赤プレイヤーの勝ち。